

— プレパクトフローコーン —

取扱説明書

プレパックドコンクリートの注入モルタルの流動性試験方法(P漏斗による方法) (JSCE-F 521-1994)

1. 適用範囲

この基準は、P漏斗を用いたプレパックドコンクリートの注入モルタルの流動性試験について規定する。

2. 試験用器具

- 漏斗は、図1のように、上端内径178mm、下端内径13mm、漏斗部の高さ192mmで、内径13mm、長さ38mmの流出管を有する鋳アルミニウム製のもので(※1)、1725mlの試料を漏斗側壁に設置したポイントゲージで測定できるものとする。

(※1)ステンレス製のものでもよい。

- 漏斗を支える台、ストップウォッチ等を用意する。

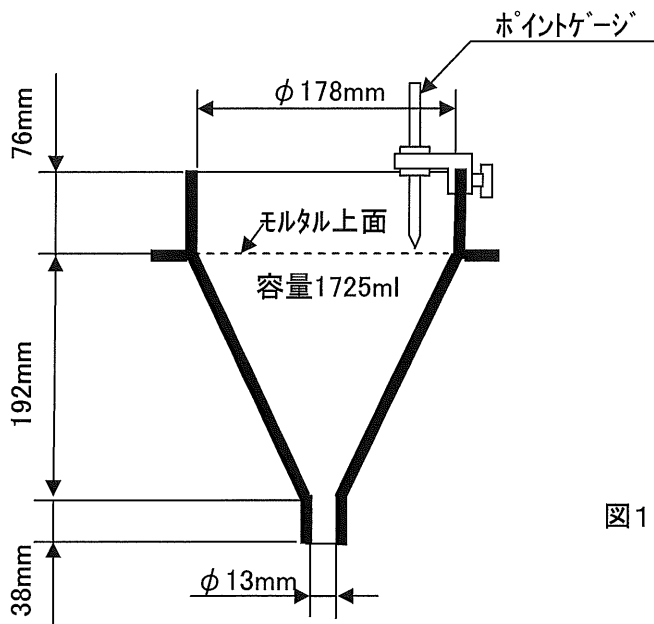


図1 P漏斗

3. 試験方法

- 漏斗を台に鉛直に支持する。

- 試料のモルタルを漏斗内に注ぐ。流出口から適量のモルタルを流出させたのち、指で流出口を押え、モルタル面が漏斗側面に設置したポイントゲージの先端より上になるまでに注ぐ。流出口を押えた指をゆるめて、モルタルを少しずつ流出させ、モルタル面をポイントゲージの先端と一致させる。

- 指を離してモルタルを流出させ、流出口からのモルタル流が初めて途切れるまでの流下時間をストップウォッチで測定する。

4. 試験結果

流動性は、前項の流下時間を秒で測定し、これを流下時間何秒として示す。

5. 報告

報告は、次の事項について行う。

(1)日時

(2)天候

(3)気温

(4)バッチ番号

(5)モルタルの温度

(6)流下時間